

自治会ニュース in 尾張旭市

身近な自治会・町内会ニュースをお知らせください

平成29年3月
第17号

発行 / 尾張旭市 市民活動課 〒488-8666 尾張旭市東大道町原田 2600-1
URL <http://www.city.owariasahi.lg.jp/> E-mail siminkatudo@city.owariasahi.lg.jp
電話 (0561) 76-8126(直通)、(0561) 53-2111(代表) 内線 371,372
FAX (0561) 52-0831

特集

1. 自治会等活動促進助成事業の中間報告会 & 交流会 がありました

1月14日中央公民館にて、平成28年度自治会等活動促進助成事業の中間報告会兼交流会が開催されました。中間報告会では平成28年度、自治会等活動促進助成事業として選定された7団体の自治会等から、事業実施(実施中)の報告があり、参加された皆さん(事業申請団体の方を含め約40名)は熱心に耳を傾けていました。

その後に開催された交流会では、各発表団体のブースを設置し、各ブースにおいて質疑応答や助成事業を通じて得たノウハウ等を伝えたり、歓談も活発に行われたりと、様々な団体間で交流を深めていました。交流会参加者は自由に移動し、興味のあるブースで話を聞けるため、複数のブースで話を聞いている方もいました。また、会議室中央にアンケート及び自由意見を載せるブースを設置したことで、助成金事業以外の話をするきっかけにもなりました。

2. 自治会等活動促進助成事業の紹介

平成28年度は、7団体の自治会等から環境・防災・健康・交流等の様々な分野から申請がありました。事業内容の紹介をしますので、地域活動の参考にしてください。



旭丘連合自治会

3R推進事業

平成26年度に示された「一般廃棄物処理基本計画」を受け、3R推進活動を通して住民がゴミ削減に心掛けた生活ができるよう啓発しました。

「リサイクル推進事業」「3Rポスターコンクール」「がおかエコフェス 2016」の3事業を通し、3Rを身近な問題として実践する姿勢が地域の中に定着しつつあります。



パークシティ三郷町内会

パークシティみんなそろってふれあい事業

本事業による三つのイベント(クロリティ大会・ラジオ体操・避難訓練)を通して、これまで顔を合わせるだけだった住人と声を交わす機会ができ親近感がわくようになりました。

また、町内会・管理組合・子ども会との間に一体感が生まれ、住民の町内会への関心が大きくなってきたことにより、連合自治会への参加も多くなってきています。



桜ヶ丘東自治会

地域の自主防災体制の構築

南海トラフ巨大地震による被害の防止と軽減を図ることを目的に、地域の自主防災体制の構築を進めました。

避難行動要支援者支援活動に携わる支援員への講習会、家具転倒防止施工、AED講習会、セーフティリボン安否確認訓練、29年度要支援希望者と支援員の募集、防災Newsの発行と全戸配布などを行い、自主防災活動の大まかな骨子が見えてきました。



松ヶ丘町内会

「健康寿命志向まちづくり」活動継続事業

健康寿命をいかに延ばすかの必要性を考え、健康的で明るく元気で健やかな家庭、町づくりを目指すことを目的としました。

ノルディック・ウォークを取り入れたウォーキング、らくらく筋トレ体操の追加募集、グラウンドゴルフ会の発足、定期的元気まる測定、健康講座の充実などに取り組み、多くの参加者がありました。また、名古屋産業大学や名古屋経営短期大学との連携により、活動の幅が大きく広がりました。



旭台自治会

“サロン”活動による、「高齢者交流・支援」の事業

旭台「地域高齢者の交流・支援」を“2つのサロン活動”で推進するもので、ポイントは、①毎週実施②DVDやTV及びモニターなどの充実と共用活用です。近隣を含み、地域限定せず、「高齢者交流と安全などの情報共有」を支援しました。

近年多く発生する「オレオレ詐欺」等の注意喚起も、「体操・サロン」が毎週行われることから、面前で「高齢者に説明、注意喚起」できる形が確立しました。



本地ヶ原連合自治会

校区防災力強化事業(その2)

2年目の展開 町内毎の実情に基づく具体的な取り組み

2年目となる本事業では、更なる啓発と同時に、各町内の防災活動の浸透・防災体制整備を推進しました。その結果、アンケートで判明した各町内の課題に対して、話し合いや体制作りをいくつかの町内が開始しました。また、校区防災OBの組織によるこれらの活動の推進・援助活動、防災担い手のリーダーや将来を託す子供たちへの啓発の講習会、「2016防災訓練案内」の全戸配布等の活動も行いました。



山の手自治会

未来を見据えた自治会活動持続事業その2

会話の機会を増やし新しい仲間づくりをするため、＜向こう三軒両隣＞＜世代を超えた交流＞を踏まえたイベントを開催しました。

具体的には、春の交流会、盆踊り大会、敬老ふれあいの会、迎春餅つきの会、新年賀詞交歓会等を実施しました。

～中間報告会兼交流会の当日の様子～



3. 中間報告会兼交流会の講評・総評

中間報告会兼交流会に参加された講師2名の方の講評・総評の概要を紹介します。

中間報告会講評

特定非営利活動法人 ボランティアネイバーズ 研究員 桜井温子 氏

今年も皆様の力のこもったプレゼンを聞くことができ感謝している。皆様の活動に感心をしながら聞いていた。全体的に感じたことは、継続・新規の事業が共にあったが、どの事業も計画の段階からしっかりと計画が練られており、実行力が高いということである。今年度は継続の事業が多かったが、どの事業も継続の事業といながらも前年の課題等も考えながら、毎年新しい部分を取り入れており、一段と自治会の組織力アップを感じている。普段私自身は、地域の一住民として自分自身のことを考えて行動することが多いが、皆様は地域全体のことを考えて貢献・活動ができていて素晴らしいと思う。活動内容も高齢者の方等様々な人を巻き込んで実施するものが多く、活動の広がりも期待できる。自分のことをできるようになった人が、他の人との関わりを持ちたいという意識も持って皆様と一緒に活動して、全体の取り組みをできる人が増えるといいと思う。山の手自治会では、役員以外の人の協力体制を作ることも行っているとのことだったが、こういった次の世代の担い手作りをしていくことも今後は重要になっていくと思う。

学校法人菊武学園 名古屋産業大学 伊藤雅一 氏

中間報告会なのだが、例年完了の色が強く皆様の計画力・実行力に敬意を表したい。皆様の報告を聞くと、継続案件は尾張旭市の地域に地域活動を定着させる、新規案件は定着させた取り組みを他の地域に広げていく機会という印象を受ける。そういった観点から、この制度が作られて8年になるが、今年度気付いた点6点をお話して講評に変えたいと思う。

この助成金制度が始まった頃は、防犯の活動が多かったように感じるが、市民活動課長に聞いたところ、現在地域防犯の活動をしている自治会が18あるということであった。この助成金制度を通じて地域の防犯活動が根付いていったのではないかと感じる。今年度を見てみると、防災の事業がいくつかあり、この助成金を通じて防災の活動が広がりつつあるように思うというのが1点目である。

2点目は、尾張旭市は健康なまちづくりを進めているが、自治会単位で健康づくりの活動が広がりつつあるという点である。

3点目は、エコ活動・ゴミ減量の取り組みについて発表してもらったが、啓発・教育を重視した取り組みということで、このような活動が他の地域にも広がって欲しいという点である。

自治会活動は、地域の交流をどのように活発化させるかが、最大の課題だと思う。山の手自治会では、これまでの地域活動の蓄積を踏まえて様々な活動が展開されている。全ての活動を他の地域が取り入れるのは難しいかもしれないが、他の地域への参考例を示していただいているというのが4点目である。

活動の発表の中でも話があったが、自治会・町内会間の連携を皆様がかなり意識してやられているので、自治会・町内会間の連携をすることができており、他の自治体ではあまり見られない事例である。こういった連携を広げていけば、皆様も定着させた地域活動を他の地域へさらに広げていける可能性があるというのが5点目である。

6点目は、地域と大学との連携である。名古屋産業大学・名古屋経営短期大学の活動にもご協力いただきありがとうございました。その他にも三重大学との連携もあったが、こういった連携は、地域活動を広げる、活発化させるものだと思う。この後開催される交流会が、活動の広がり、新たな取り組みの参考にもなることを期待している。

中間報告会兼交流会総評

学校法人菊武学園 名古屋産業大学 伊藤雅一 氏

中間報告会・交流会で話を聞かせていただいて、防犯・防災・健康・環境といった具体的な取り組みが定着してきているように感じる。本事業は今年度が8年目であり、再来年には10年目を迎える。10年目というのは節目であるため、皆様これまで取り組んできたことを、他の地域も参考に一つでも取り組んでいけるようなきっかけも必要ではないかと思っている。皆様の事業を一つのモデル事業として、多くの市民の方が見ることができる活動成果の報告書のようなものも、市が予算として今後検討していただければ、皆様の先駆的な活動がより地域に広がり、尾張旭市だけではなく他市へ向けてのシティセールスの一環にもなるのではないかと思う。皆様には引き続き地域活動にご尽力いただき、来年継続案件も多いと思うので、さらなる展開を期待している。

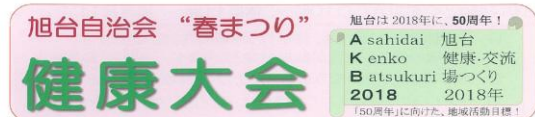
4. 自治会・町内会加入のご案内を作成しました

昨今、価値観や生活様式の多様化などにより、いわゆるご近所づきあいが希薄になりつつある状況もあり、自治会加入率は減少傾向となっています。しかし、近年の大規模災害発生時において、自治会等の地域コミュニティが被災者の人命を左右したという報道もあり、あらためて「地域のきずな」としての自治会・町内会の存在が注目されています。自治会・町内会の加入促進を図るため、自治会・町内会の活動等を紹介するパンフレットを市で新たに作成しました。地域で未加入者への声掛けする際等にもご活用いただけますので、必要場合は、市民活動課コミュニティ係までご連絡ください。



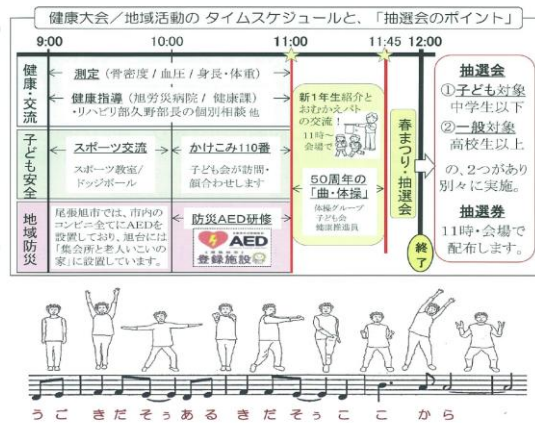
5. 地域で作成した体操の紹介

旭丘連合自治会、旭台自治会では、地域の方の健康増進や交流等を目的として、それぞれの地域で体操を作成し、様々な取り組みをされていますのでご紹介します。



平成29年3月12日(日) 9～12 旭台 第2公園 / 集会所

健康大会は、「健康交流場づくり」を目指してH26/3に第1回を開始以降毎年実施し今年で4回目になります。高齢者自身の「健康気づき」だけでなく、「顔の見えるまちづくり」を目的に「防犯・防災」をはじめ、世代間の交流促進など積極的地域活動の場づくりを支援しています。



旭台・健康大会 主催：尾張旭市 旭台自治会 健康福祉部会

支援：尾張旭市 健康福祉部 健康課 / 労働者健康安全機構 旭労災病院

※他の自治会等でも様々な活動をされていますので、この自治会ニュースの中で随時紹介させていただきます。掲載を希望される活動がございましたら、市民活動課までご連絡ください。